

三重県入札等監視委員会 審議概要(令和5年度 第5回)

開催日及び場所	令和6年2月28日(水)14:00～17:00	
出席委員	委員長 木本 凱夫 副委員長 酒井 俊典 委員 山田 梨津子 委員 山崎 美幸 委員 加藤 拓也 委員5名中5名出席	
入札・契約事案の審議について		
審議対象期間	令和5年10月1日から令和5年12月31日	
抽出案件	総件数 4件	(備考)
一般競争入札	2件	
指名競争入札	2件	
随意契約	0件	
委員からの意見・質問、それらに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
事故繰越事案の審議について		
令和4年度事故繰越事案	1件	
委員からの意見・質問、それらに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申または勧告の内容	特になし	

入札等監視委員会 令和5年度 第5回定例会 (令和6年2月28日)	
意見・質問	回答
入札・契約事案の審議について	
工事名 ①二級河川鳥羽河内川 鳥羽河内ダム本体建設工事〔志摩建設事務所〕	
<ul style="list-style-type: none"> ・9特定建設工事共同企業体(構成員3者)が入札に参加しているが、県内、志摩管内業者は参加しているのか。 ・技術提案のヒアリングが全者同じ点数であるが、ヒアリング内容はどのようなものか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定建設工事共同企業体の代表者は、ダムの施工実績が必要なため県外のゼネコンであるが、地元調整が必要であるため構成員1は、県内または志摩管内の業者、構成員2は基本的に志摩管内の業者である。 ・ヒアリングでは技術提案で読み取れない部分を質問し技術者の説明や受け答えを評価している。技術者はダム工事総括技術者の資格を有する大手ゼネコンのダム工事専門家であり全者概ね優れていると評価した。
工事名 ②志摩中南部地区 県営中山間地域総合整備事業 農地防災1号・2号ほか工事〔伊勢農林水産事務所〕	
<ul style="list-style-type: none"> ・再公告の入札案件であり1回目の入札で応札者がいなかったのは、手間がかかる工事であるが積算への反映は適正であったのか。 ・今回工事場所のため池は2箇所であるが、工事場所の距離的なものはどのように積算しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農林水産省土地改良工事積算基準に基づいて適正に積算し予定価格を設定している。応札者がいなかったため再度現場を確認し、水替え工を常時排水にするなど積算条件を一部変更し、再公告を行ったところ2者から応札があった。 ・農林水産省土地改良工事積算基準で、ため池間が1km以内であればまとめて積算して良いとの基準があり、今回300mしか離れていないのでまとめて発注した。
工事名 ③一般国道306号鈴鹿亀山道路(亀山JCTランプ橋) 道路改良(橋梁設計)業務委託〔鈴鹿建設事務所〕	
<ul style="list-style-type: none"> ・鈴鹿亀山道路関連の委託はコンサルにとって魅力的な案件とのことであるが、今後多くの業務を発注されると思うがどのような発注計画を考えているのか。 ・技術提案の実現性の点数が全者同じ点数になっているが、同じようなレベルの提案であったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現時点で具体的には確定していない。事業延長は10.5kmあり、地元の熱意や事業協力に差があるため今後、地元調整を進めながら判断していくことになる。 ・今回指名したコンサルは大手のコンサルばかりであり、高速道路へ直結する橋の設計に精通しており、技術提案のレベルが高く甲乙つけ難かった。
工事名 ④一般県道小船紀宝線(瀬原) 道路損傷緊急復旧工事〔熊野建設事務所〕	
<ul style="list-style-type: none"> ・指名業者を選定する考え方の中で指名回数があるが、これはどういう観点で業者選定に反映するのか。 ・指名競争入札にすると一般競争入札に比べどれくらい期間短縮できるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指名業者を選定するための1つ考え方であり指名による発注本数が多い年度は特定の業者に偏らないようバランスに配慮するため、指名回数を考慮している。今年度は本数が少なく業者選定に指名回数は考慮していない。 ・今回の指名競争入札は、指名通知から開札までの期間が約3週間であり、これを一般競争入札(総合評価方式)にすると公告から開札まで約1ヶ月半(約6週間)かかるため、約3週間の短縮ができた。

入札等監視委員会 令和5年度 第5回定例会（令和6年2月28日）	
意見・質問	回答
事故繰越事案の審議について	
工事名 その他水系宮谷川水系宮谷通常砂防他工事〔防災砂防課〕	
<ul style="list-style-type: none"> ・契約解除工事の契約額は約1億7,000万円で未執行額が1億円であるが、新規発注工事の設計額は約2億4,000万円となっている。事故繰越が原因で余分に工事費がかかったということか。 ・受注者の資金調達困難を理由に契約を解除したとのことであるが、業者が毎年受けている経営事項審査の点数が下がっていくなどの兆候はなかったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事故繰越が原因で工事費が増えたということではない。新規発注工事では、未執行額の1億円に令和5年度予算を加えてえん堤工の工事進捗を図るよう執行しているためである。 ・特に昨年度と変化はなかった。昨年10月頃から負債が増え経営状況が悪くなってきたとのことであり、今後の経営事項審査では反映されてくると思う。
その他	
<ul style="list-style-type: none"> ・次回、令和6年度第1回入札等監視委員会の開催日は、令和6年5月29日（水）の予定とする。 	